

IVRに関する医療被ばくの実態調査に関する研究のお知らせ

帝京大学医学部附属病院で以下の研究を行います。

本研究は、倫理委員会の審査を受け承認された後に、関連の研究倫理指針に従って実施されるものです。

研究期間：2019年11月18日～2020年7月31日

〔研究課題〕 IVRに関する医療被ばく実態調査及び線量評価

〔研究目的・意義〕

近年、医療放射線を使用した検査や治療が普及し、件数も増加しています。X線CT検査や画像下治療(IVR)などが必要に応じて実施されていますが、特にIVRは長時間のX線透視による皮膚障害などが生じる可能性があり、被ばく防護が重要です。被ばく線量が過剰になりすぎないような基準値を設定するにあたり、日本各地の放射線科専門医修練施設におけるIVR線量の現状実態を把握し、それに基づいて日本における適切な基準(診断参考レベル:Diagnostic Reference Level)を設定することを本研究は目的としています。

〔対象・研究方法〕

本研究は日本医学放射線学会および放射線医学総合研究所が計画し、当院は放射線科専門医修練施設として、過去に当院で実施された診療情報を提供いたします。本研究のために患者さんに新たな検査が行われることはありません。

- ・対象となる方:2018年研究期間中にIVR検査を受けられた方
- ・提供する診療情報:性別、年齢、身長、体重、IVR手技の種類、IVR装置、IVRの方法・透視・撮影条件

〔研究機関名〕 日本医学放射線学会 放射線安全管理委員会、放射線医学総合研究所 計測・線量評価部

〔研究責任者〕 日本医学放射線学会 茂松直之、放射線医学総合研究所 赤羽恵一

〔個人情報の取り扱い〕

お名前や個人情報が公表されることは一切ありません。本研究は、文部科学省・厚生労働省「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針」に従い、対象となる患者さんの個人情報の管理は徹底するとともに、研究内容の情報を公開することとさせていただいております。また研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。研究内容に関するお問い合わせなどがありましたら、放射線医学総合研究所(043-206-3061)または日本医学放射線学会(03-3814-3077)へご照会ください。

また当院の患者様で、個人情報に関して不明な点があるは下記問い合わせ先までご連絡ください。

ご協力よろしくお願い申し上げます。

当院における問い合わせ先

研究責任者 :大場 洋 (帝京大学医学部放射線科学講座主任教授)

情報管理責任者:近藤 浩史(帝京大学医学部放射線科学講座教授)

帝京大学医学部放射線科学講座医局 TEL:03-3964-4098 [内線:49321]